



CITY OF NAGASAKI

メッセージ

「アースキャラバン2016」が実施されるにあたり、長崎市民を代表してメッセージをお送りします。

皆様におかれましては、平和な世界の実現を積極的にアピールしていくことを目的に「アースキャラバン2016」を企画されましたことに深く敬意を表します。

1945年8月9日午前11時2分、長崎市は一発の原子爆弾により壊滅的な被害を受け、7万4千人の尊い命が奪われ、7万5千人の方々が負傷しました。かろうじて死を免れた人々も、心と身体に癒すことの出来ない深い傷を負いました。被爆から70年目を迎える現在も、多くの方々が原爆の後障害に苦しんでいます。

国際社会で核兵器の非人道性についての認識が広がりを見せるなか、昨年4月にニューヨーク国連本部で開催された「核不拡散条約（NPT）再検討会議」に参加し、各国政府代表に向けて、今回の会議を核兵器の価値を否定する新しい世界へのターニング・ポイントにしようと訴えるとともに、各国首脳や核問題に関わる方々の被爆地訪問を呼びかけました。そして、ご承知のとおり、国連総会においては、核兵器廃絶に向けた法的措置などを議論する公開作業部会の設置が決議されています。

核兵器のもたらす危険性は、決して被爆地だけの過去の問題ではなく、世界が抱える今と未来の問題です。長崎市は、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、今後とも着実に歩み続けてまいりたいと考えております。

「アースキャラバン2016」を通して、参加された皆様が平和への思いを共有し、核兵器廃絶の声を大きく発信していただくことを期待しています。

最後に、皆様の今後益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成28年2月1日

長崎市長 田上 富久